

9月14日：VN指数は2日連続の下落 流動性は向上

水曜日の株式市場はVN指数の短期の下値支持線付近まで近づき需要が回復したことにより後場で下げ幅を小さくした。

午前の取引で30ポイント近く下落したが引けにかけて上昇に転じ、終値はこの日の高値で前日から-0.61%の1,240.77ポイントであった。二日連続の下落であった。ホーチミン市場では14.4兆ドン（6億2,100万ドル）相当の6億0,800万株が取り引きされ、取引株数は前日から+16.3%、出来高は+28.3%と流動性は改善した。

証券セクターの上昇が午前の上落を縮小させ、引けまでに平均+2%を記録した。主要上昇銘柄はSSI証券（SSI）、ホーチミン証券（HCM）、FPT証券（FTS）、ベトイン証券（CTS）、BIDV証券（BSI）、バンベト証券（VCI）、アグリバンク証券（AGR）などがあり、それぞれ+1.4%～+5.8%であった。その中でもSSI、HCM、VCIがVN指数を最も下支えした銘柄であった。

一方、サイゴンビール（SAB）、ビナムミルク（VNM）、ペトロベトナムガス（GAS）、マッサングループ（MSN）、ビンググループ（VIC）、ビンホームズ（VHM）や、銀行セクターのベトコムバンク（VCB）、ベトインバンク（CTG）、テコムバンク（TCB）、BIDV（BID）の10銘柄が最も指数を引き下げた下落銘柄であった。

ベトドラゴン証券のアナリスト Phuong Nguyễn 氏は「マーケットは下落を続けているが、直近のVN指数は1,245ポイントで下支えされている。」と述べている。

「流動性の低さが2度目の調整局面下でのクールダウンを見せる売りへの圧力を表しているとともに、取引の動きの安定化を引き起こしている。

しかし、この期間における市場の懸念点は大きな買い需要に欠けているというところである。マーケットは近い将来、高いとは言えないが1,260～1,270ポイントの抵抗線付近への回復を続ける局面に差し掛かると予想される。」（同氏）

Phuong Nguyễn 氏はまた、市場の再評価のためにこれからの需給の動きに注視する事を意識づけており、「今はまだリスク回避のためのポートフォリオの構築で回復局面に備えることが有益である。」と投資家に勧めている。

VN 指数は9月に入ってから8営業日で3%以上の下落を記録する暗い展開である。

ハノイ市場ではHNX指数が-0.77%の279.42ポイントと3日続落となった。取引株数と出来高はともに上昇し、1.7兆ドン相当の8,040万株が取り引きされ、前日から20%以上の上昇を記録した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。